

作道地域振興会

作道地域振興会だより

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、更に感染が拡大している今日この頃、作道校下の皆様にはお健やかに暮らすこととお喜び申し上げます。

また、昨年末から新型コロナウイルス感染症が急増して、首都圏や大都市に緊急事態宣言が再発令されました。

もう一度、初心に戻り新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと守る「3密」、「マスクの着用」、「手洗い」を徹底し、新型コロナウイルス感染に負けないようにしましょう。

今後とも地域の皆さんが、元気な笑顔で暮らすために一人一人が、一声かけあい新型コロナウイルス感染症に負けないように頑張りましょう。

後半も新型コロナウイルス感染症で予定された事業がほとんど中止となりましたが後半に1部実施した行事を紹介します。

住民文化祭

11/3

今年は新型コロナウイルス感染症対策として、各サークルや一般の芸能発表、バザー等を中止し、作品展示のみとしました。

作品発表では、かきかた、書道や保育園年長組、小学校3・5年生、一般の絵画、書、手芸品等266点を展示しました。また、各サークル活動発表（民生、児童委員会・すみれ会・食生活改善推進委員会・支え合いネットワーク事業・パソコン教室）等の展示をしました。

会場内の3密を避けるために入場者は玄関から入り各会場を見て廻り出口は西側勝手口から出るようにしました。作品展示だけなので、来場者が少ないかと心配しますが300名近い住民の方々が来場され、楽しい一日になりました。



ふるさと探訪ウォーキング

11/8

今回は新型コロナウイルス感染症対策として参加者40名を2班に分け、距離も短縮して実施しました。

まず、コミュニティセンターで身体をほぐし、最初の訪問地の新湊博物館に向け出発し、博物館職員の松山さん等の詳しい説明を聞き、博物館が初めての方もおられ地域にこんな良いところがあると驚かれていました。

また、2番目の目的地である旧センター跡地に建設中の作道消防分団屯所説明とその横にある地域の偉人である斉藤さんの銅像や地域の恩人の遠山さんの石碑の説明を宮田会長よりしてもらいました。地域の皆さんの意識も薄れていて、全員が再認識させられました。

コミュニティセンターに帰り終了の体操の後、おにぎり、お茶・鉛・チョコの配布物を配り解散としました。



作道消防団新屯所完成と消防団員募集について

射水市消防団北部方面団

作道分団分団長 森田 康 則

作道校下の皆様方には、平素から作道分団の運営につきまして、毎々格段のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、射水市操法大会・富山県下消防操法大会が中止となりました。色々な行事が自粛せざるを得ない事態になり、令和3年度はこれからの大会及び行事が開催されるものと日々訓練に、励みたいと思います。

今般、作道分団新屯所が令和2年7月7日から令和3年1月15日までの工期で完成しました。ひとえに、関係者の皆様方、関係諸官庁の皆様方の懇篤なご指導と、ご鞭撻を賜りましたお陰でございまして、まことに感謝の至りにたえません、厚く厚く御礼を申し上げます。

また、現在作道分団の定員は39名のところ、33名で6名の欠員となっております。令和4年には富山県下消防団操法大会の出場が決まっております。団員の高齢化により大会出場に支障を来す状況なので、団員の募集をお願いします。

消防団について簡単に説明しますと「消防団」という言葉は知っていても、実際にどんなものなのか、どんなことをしているのか知らないという人もいないでしょうか。消防団は実はこんな顔をもっています。「非常備の消防機関」消防署は常勤の消防職員であるのに対し、消防団は普段は様々な仕事に就いている人たちが、「火災」・「風水害」・「震災時」に消防団員となり消防活動を非常備の消防機関です。「特別職の公務員」消防団員は公務員です。ただし、特別職の非常勤公務員となり「特技を生かせる場」仕事上の資格を活かすことができます。例えば、建設会社で重機操作をしているなど、洋々な場面で特技を発揮することができます。

「入団資格は」18歳以上の健康な方であれば男女問わず入団資格があります。射水市内に在住または勤務の方が入団できます。

どうか皆様方におかれましては、校下住民が安心して暮らせる安全な地域づくりのために、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、皆様方のご健勝、ご多幸を心よりお祈り申し上げまして、作道分団のご挨拶といたします。



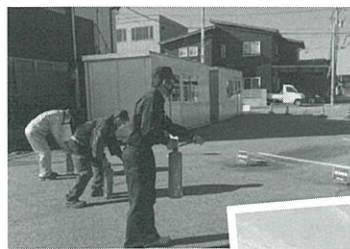
11月15日

令和2年度作道校下防災訓練及び射水市消防団北部方面団消防訓練

新湊消防署の指示で感染症対策として規模を縮小して開催することとなり、各自治会より3名と新湊消防署員8名、来賓4名の参加となり総勢54名で実施しました。

班を4班に分け4ブースを回り実施しました。

また、校下防災訓練終了後、北部方面団の消防訓練が実施され、10分団一斉放水等があり避難者に支援物資配給訓練後全員解散となりました。



地域支え合いネットワーク事業

第6号

『作道校区声かけていかんまいけ』通信

☆ 第2回 講演会 [担当地区 久々湊・野村・津幡江]

令和2年10月8日(木) 19:30~20:30

射水市出前講座「脳トレ教室」 講師：窪 哲志 氏
「スポーツ脳科学」と「スポーツ心理学」の講演を聞き、講師のエネルギーあふれる声掛けや動きに合わせて息を弾ませ、笑顔があふれる講座になりました。



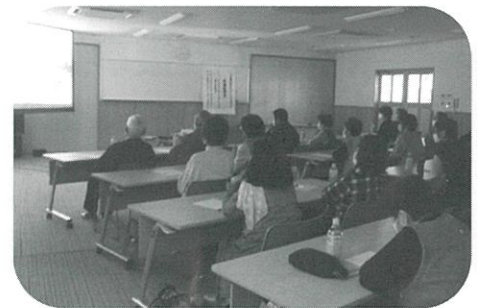
☆ 第3回「映画鑑賞会」 [担当地区 殿村・今井・沖]

令和2年11月13日(金) 13:30~15:00

初めての企画で、「日本の記録 S38~39年」、「老いを生きる」2本の上映会を開催しました。懐かしい映像に当時を思い出し、また知らなかった事件や事故にも驚きました。

「老いを生きる」は、明日は我が身か、どう生きていくべきか、どう支え合っていく地域が住みよいかなどと考えさせられる映画鑑賞でした。大好評で次回開催を望まれました!!

☆住民文化祭に100歳体操活動の紹介



令和2年11月3日(火) 10:00~15:00

住民文化祭において、各地区の100歳体操活動の様子、モットーを紹介しました。元気で、はつらつとした笑顔、すまし顔などがあふれる展示になりました。健康寿命を目指して!

第4回 講演会開催予定

担当地区：高木・布目・鏡宮

開催内容：「若さを保つ軽体操・脳刺激体操」

第5回 講演会開催予定

担当地区：鏡宮弥生・神楽町

開催内容：「徘徊高齢者声かけ模擬訓練」



コロナウィルス感染症の終息が見えない中、みんなで一緒に3密を避け、マスク・手洗い・検温をするなど、緊張感をもって社会生活を送りましょう!

作道校区の自治連合会、社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、老人クラブ連合会、そして新たな団体などが連携して自分の力でできることで助け合える地域をつくりましょう!

作道校下社会福祉協議会だより

〈令和2年度の主な事業についてご紹介〉

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、やむなく規模縮小等の対応を余儀なくされました。その中で、感染対策に十分配慮しながら、出来ることから活動を展開しました。

12
19

三世代交流の集い

19回三世代交流の集いは、参加者を作道校下の三世代家族等に加えて、射水まちづくりプラットホーム事業参加者との合同開催になりました。

富山県フォレストリーダーから「わたしたちのとやまの森」についての話を聞き、森がくらしと深く関わっていることを学びました。その後、門松づくりをしました。のこぎりで竹が切れたときには、あちこちで拍手が起こり、竹・松・南天などを入れて完成しました。

お正月には各家庭の玄関に飾られたことでしょう。



地域子育て支援事業

この事業は、地区内ボランティア「すみれ会」、食生活改善推進員、更生保護女性会、民生委員児童委員、ボランティアサポーターの協力をいただいております。

月日	事業内容
9月26日	講演会「子供の健康を守るために」 ～コロナウイルスに負けない親子のコミュニケーション～
10月31日	「遊べるクリップ工作」
11月21日	「体を作る栄養を知ろう」、「親子でクッキング」
年間	朝の読み聞かせ（小学校）



◇その他の社会福祉協議会の事業

月日	事業内容
4月18日	総会（4/23）中止のため監査・正副会長会議で承認
8月8日～13日	小学生と共にひとり暮らし高齢者宅訪問事業
10月24日	ひとり暮らし高齢者宅訪問活動事業
10月29日	研修会「社会福祉協議会の活動について」
12月11日	ふれあいサロン世話人連絡会
12月下旬	歳末ひとり暮らし高齢者宅等訪問